

マテリアリティへの取り組み

環境



「地球環境のお困りごと解決への貢献」

環境に配慮した物流資材の開発・提供や車両整備等、当社の事業活動を通じたサービスの提供によりCO₂削減や資源循環などの環境保全に取り組み、企業の責任として地球温暖化などの環境課題の解決に取り組みます。



取締役副社長、管理本部長 小山 幸弘

当社グループは、次代に地球環境をより良き状態で引き継ぐために「環境方針」を定め、当方針のもとで推進体制を構築し、社会の一員として環境の保全に全社をあげて取り組むとともに、それを妨げる事象の未然防止に努めています。

事業活動や提供するサービス・製品・商品が地球全体の環境に負荷を与えないようCO₂削減や資源循環などの環境保全に取り組み、企業と社会・地球環境が調和的に存続する環境経営に全力で取り組んでいきます。

また、お客様に対して環境に配慮した提案（※1）をしてまいります。

（※1）提案事例

- ・製品素材の軽量化や仕様見直し等による素材そのもののCO₂削減や、それらに伴う輸送効率の向上による輸送車両台数の削減等によるCO₂削減
- ・お客様使用車両の台数削減やx-EV化（環境対策車両化）の推進

主要KPI

定量面	<p>（自社CO₂排出量削減への取り組み強化）</p> <p>事業活動を通じて、地球環境の保全に取り組むことにより</p> <p>・CO₂排出量の低減（2018年度実績：3,710 t-CO₂）</p> <p>2018年度比にて ⇨ 2030年度：50%削減、2050年度：100%削減</p>
定性面	<p>・循環型社会に向けた包装仕様の改善による、再生材への転換及び脱プラスチック化の実現</p> <p>・ゼロエミッション工場化、次世代モビリティのシェアリングサービスの提供などによる、モビリティ構想（地域スマート化構想）への貢献</p>

環境方針

キムラユニティグループは、環境方針を定め地球環境の保全に配慮し、事業活動を通じてその実現に取り組みます。

1. 当社グループの事業が地球環境に深く関連していることを認識し、グループをあげて環境保全活動を推進する。
2. 環境関連法規制及び当社グループが同意するその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の防止に努める。
3. 事業活動にかかわる環境影響を的確に把握し、環境目的・目標を定め、改善活動を行うとともに持続的な環境改善に取り組む。
4. 環境に関する教育を実施し、環境対応への意識向上を図る。

気候変動に関するリスクと対応（カーボンニュートラルへの挑戦）

当社グループは、気候変動に伴い発生する風水害等の物理的リスクだけでなく、気候変動を抑止するための諸制度や事業環境の変化等の移行リスクに対応するべく、社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置し、当社グループ各部門の事業活動を通じた環境課題への対応を統制・推進しております。

気候変動の緩和に向け、環境性能が高い設備への切替えの推進、再生可能エネルギー使用の促進や運用時における省エネ啓蒙、既存物件の改修による環境性能の向上等による「省エネ」に注力し、脱炭素への取り組みを推進しております。また、パリ協定で締結された「世界の平均気温上昇を産業革命前比2℃未満に抑える目標の実現」はもちろん、「今世紀末までに温室効果ガスの排出、実質ゼロの実現」が求められています。

当社は「2050年までにCO₂排出量ゼロ化」の実現を目指し、これまで培ってきた各事業活動に加え、次世代自動車を見据えた新工法や製品・サービスの開発力を活かし、2050年度までの活動目標を実行計画に落とし込んで活動しております。更に中間の2030年度目標として、CO₂排出量を2018年度比で50%削減することを目標に掲げ、段階的かつ具体的なCO₂削減を進めてまいります。

循環型社会の実現に向けて

限りある資源を有効に利用し循環型社会を実現するために、包装材の廃止・スリム化、環境負荷の低い素材の使用、製品材料の使用量低減、徹底的な分別による廃棄物の低減、リサイクルやリユースしやすい製品設計など、資源の有効利用に取り組んでおります。

化学物質管理や環境に関連する法令遵守

製品含有化学物質の管理を強化するため、国内外の製品含有化学物質を対象とする管理手順を定めた「製品含有化学物質管理手順書」を制定し、当社ならびに関係お取引先様における化学物質管理の強化を図り「国内外の関係法令、関係業界基準および顧客要求事項に基づく禁止物質の不使用」の徹底に取り組んでおります。

低炭素設備導入



低炭素設備としてレーザー加工機の代替更新投資をいたしました。

設備投資を決定した理由

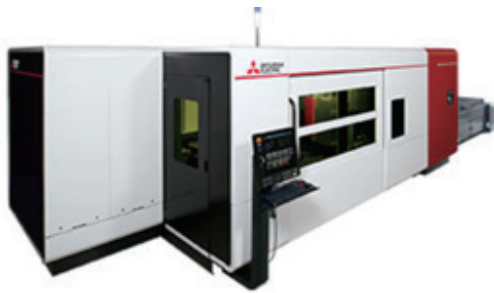

将来の格納器具製品の拡販において、短納期且つ少量で複雑な加工が必要な事や軽量化を実現する為にハイテンション材の加工頻度が増加する事への対応が不可欠である事及び2021年3月26日に公表しております「キムラユニティグループ中期経営計画2023」内、サステナビリティ方針に基づくCO₂削減への対応から、愛知県稲沢市の当社製造工場及び海外子会社 KIMURA, INC. の製造工場のレーザー加工機代替を実施いたしました。

新設備導入により生産技術を更に向上させ、要求される高品質製品の拡販に向けた量産体制を整えるとともに、現行機と比べて電気使用量は約20%削減、CO₂排出量は約9t/年の削減を見込んでおり、環境負荷の低減にも取り組んでまいります。なお、今回取得する機器の内、国内にて導入する機械については、環境省が定める基準を満たす脱炭素機器に該当しており、従来型と比較してエネルギー効率が高く、電気使用量の削減に寄与する「低炭素設備」となっております。

当社グループでは、今後もエネルギーの使用量削減および環境に配慮した低炭素設備への入れ替えを積極的に行い、持続可能な社会への貢献を果たしてまいります。

※ハイテンション材とは、一般鋼材より強度（引っ張りの強さ）が高い材質で、構造物の強度が上がることで「製品の耐久年数が上がる（壊れにくい）」、また材料の強度が高いため、角のパイプの厚みが薄く加工できることから、「全体の重量が下がる」などのメリットがあります。

導入設備の内容

	国内（愛知県稲沢市）	海外子会社（米国 SC 州）
取得名称	二次元ファイバーレーザー加工機 	二次元ファイバーレーザー加工機 
稼働開始	2023年3月	2022年9月
投資総額	約1億円	約9千万円
電気使用量	約20%の削減（現行機比）	約20%の削減（現行機比）
CO ₂ 排出量	約5t/年の削減（現行機比）	約4t/年の削減（現行機比）

代替設備導入による主な効果

【生産性】 現行機に比べ高スピードで加工が可能（国内機 約5倍、海外機 約7倍）

- ・生産リードタイムの短縮
- ・ジャストインタイム、1個流しによる生産効率の向上

【コスト】 厚物の加工が可能となることで100%内製化が可能、外注加工費ゼロに

- ・現行のレーザー加工機では加工できない外注部品の内製化
- ・能力の限界（板厚等）による外注品の内製化

【環境】 電気使用量削減

国内、海外とも20%削減に伴う、二酸化炭素（CO₂ 排出量）の削減（国内5t/年、海外4t/年の削減）

環境に配慮した事業活動

環境マネジメントの取り組み



世界規模で地球環境保護に高い関心が集まり、CO₂の削減や資源の有効利用など、環境に配慮した事業活動が幅広く求められております。環境対策が企業の社会的価値につながる現代、当社は豊田工場と刈谷営業所でISO14001（環境マネジメントシステム）の継続的な維持運用に努めると共に、環境保全活動の全社展開を図っております。

ISO14001 取得事業所	取得年月日	有効期限	登録番号
豊田工場	2003年8月21日	2024年8月20日	JUSE-EG-117
刈谷営業所	2005年9月29日	2023年9月28日	JUSE-EG-244

環境に配慮した包装サービス



包装サービス部門では、お客様へ環境に配慮した包装仕様をご提供するための改善に取り組んでおります。包装仕様の改善の考え方は、「包装材の廃止・スリム化」「リユース・リサイクル」「環境負荷の低い素材の使用」などに関する評価項目を考慮することで、これをもとに具体的な改善提案を行っています。

■改善例1：梱包資材の見直し（梱包仕様と資材の変更）

【現状】
エアキャップ袋を使用した個包装・横置き
の梱包仕様




【改善案】
段ボールの仕切りとパッドを使用した
梱包仕様に変更することで、
プラスチックゴミを削減




■改善例2：梱包資材の見直し（梱包仕様と資材の変更）

【現状】
仕切り材とパッドを使用した部品
横置き仕様の梱包、ポリシートによる
包装あり。



【改善案】
段ボールの部品受けを使用した部品
縦置き仕様の梱包に変更することで、
パッドの使用やポリシートによる包装の
無駄を削減する。



■改善効果

- ・内装梱包費の低減
- ・現地での梱包・包装材廃棄時における環境負荷の軽減（廃棄量の削減）

環境に配慮した事業活動

太陽光発電設備の導入



事業活動にともなう環境負荷を軽減するため、工場や倉庫、店舗の屋根などの保有資産を有効活用した、「太陽光発電設備」の導入に取り組んでおります。

上丘物流倉庫、犬山工場、稲沢工場、名古屋北営業所の4つの施設で太陽光発電を進めております。これからも自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、環境保全活動を積極的に推進してまいります。



上丘物流倉庫

犬山工場

稲沢工場

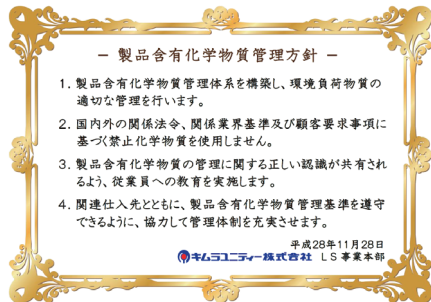
名古屋北営業所

化学物質の管理

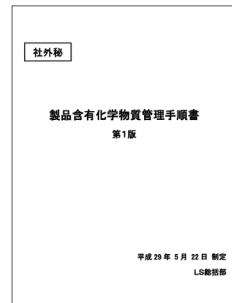


格納器具製品事業および自動車整備事業の塗装作業で使用しています塗料やシンナーなどは、化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）の対象物質を含有していることから、事業所から大気等への排出量および事業所外への移動量を把握し、行政への届出をおこなっています。

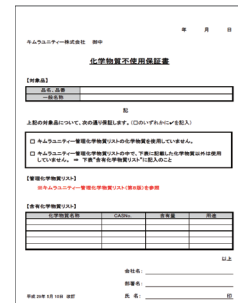
また2017年度より、国内外の製品含有化学物質を対象とする管理手順を定めた「製品含有化学物質管理手順書」を制定し、当社ならびに関係お取引先様における化学物質管理の強化を図り「国内外の関係法令、関係業界基準および顧客要求事項に基づく禁止物質の不使用」の徹底に取り組んでおります。



製品含有化学物質管理方針



管理手順書（表紙）



化学物質不使用保証書

廃棄物管理機能の強化



廃棄物の削減活動としまして、廃棄物分別の徹底、持ち込まれた木製パレット等の再利用（リユース）、金属くずや廃プラスチックなどのリサイクルを推進しております。

また、産業廃棄物に関するリスク低減のために、産業廃棄物委託業者の視察、産業廃棄物管理票（マニフェスト）のデータベース化による回収管理などを実施し、廃棄物管理機能の強化を図っております。



産業廃棄物データ管理画面とマニフェスト入力画面

環境に配慮した事業活動

環境保全活動への取り組み

事業活動による温暖化への影響を最小化するために、エネルギー使用量の削減に取り組んでおります。

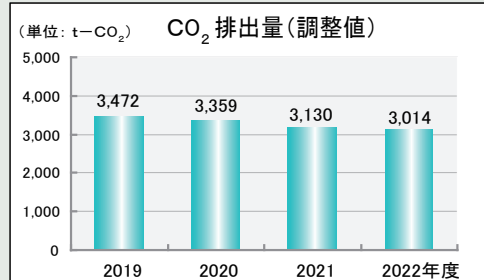
【省エネ法に基づく 2022 年度のエネルギー使用量】

電気 5,919,791 kwh ガス 230 t ガソリン・軽油・灯油 11,307 ℓ
(LPG 換算による)

CO₂ 排出量  3,014 t-CO₂

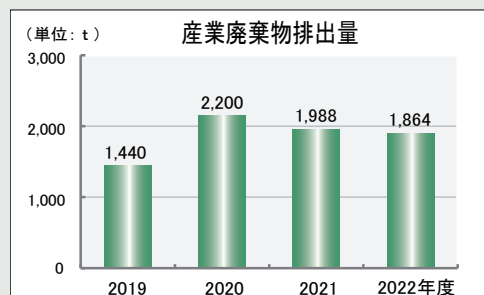
省エネ設備や機器への代替などの省エネ活動を更に推進し、CO₂ 排出量の削減に取り組んでまいります。

◇CO₂ 排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく調整後の公表値を使用しております。



産業廃棄物排出量  1,864 t

木製パレットや金属くず等のリサイクルやリユースを更に推進し、今後も産業廃棄物の排出量削減に取り組んでまいります。



◇省エネ法が定める「工場等」（工場または事務所、その他事業場を設置して事業を行う者）を対象事業分野としております。尚、「輸送」につきましては、事業分野の対象外となります。

◇省エネ法が定めるところにより、事業者全体（本社・工場・支店・営業所・店舗等）にて使用するエネルギー（電気・熱・燃料）を管理の対象としており、営業用車両などの当社事業所外にて使用されたエネルギー（※1）は、上記報告範囲ではないため含んでおりません。

ただし、当社事業所外にて使用されたエネルギーにつきましても厳格に管理し、削減に努めております。

上記（※1）に示す「当社事業所外にて使用されたエネルギー」 ガソリン・軽油 309,022 ℓ